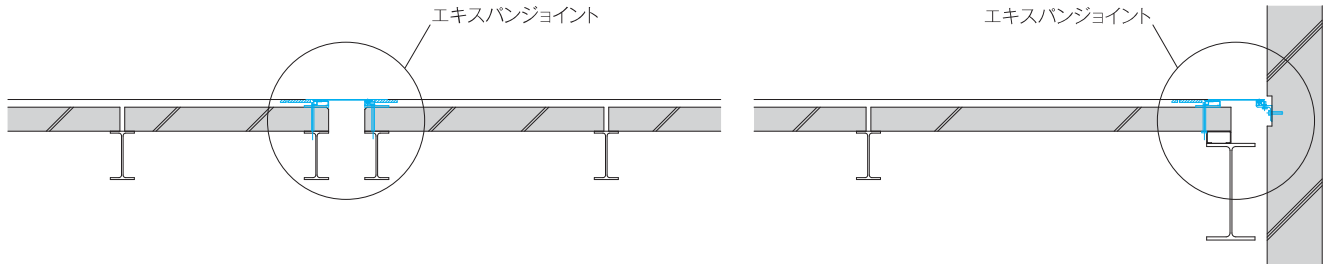


注意

E エクspansionジョイントを設ける

- 構造躯体にエクspansionジョイントがある場合には、ヘル床面にも同様にエクspansionジョイントを設けます。
- RC造などの異種構造体との取合い部は、それぞれ変形挙動が異なりますので、エクspansionジョイントを設けます。▶ [図5](#)

図5 異なる構造躯体にはエクspansionジョイントを設ける



注意

F その他の注意

- 特に振動の大きな建物、屋内が高温あるいは高温となる建物、ガス・薬品などにより化学的に有害な影響を受ける建物などでは、使用しないでください。

警告

G パネルの加工は避ける

- 切断・切欠き・溝掘りなど、パネルの加工は構造耐力上や施工能率上大きな支障となります。パネル強度の低下やひび割れ発生などの支障が出る場合があります。設計時に十分な検討を行い、パネル加工は避けるよう計画してください。
- やむを得ず現場で加工する場合には、表に示す加工範囲を目安として行ってください。
- 鉄筋を切断する加工は、鉄筋切断面に有効な防錆処理が必要です。▶ [下表](#)

床パネルの加工範囲の目安

切断・切欠き・溝掘りなどのパネルの加工により、パネル強度の低下やひび割れ発生などの支障が出る場合があります。設計時に十分な検討を行い、パネルの割付けを考慮してください。

※パネル強度の検討を要せずに加工できる範囲は、以下の通りです。

孔あけ	切欠き
<p>①パネル内の鉄筋を切断しない範囲とします。 ②孔あけの個数は1箇所とし、その径は50mm以下とします。</p> <p>○ □ 50mm以下</p>	<p>①パネル隅角部の片側1箇所のみで、下図の範囲とします。 ②切欠き部には、L-50×50×6以上の支持材を設けます。</p> <p>200以下 W/3以下 350以上 支持材 L-50×50×6以上 パネル幅W</p>